

特集

本を持って 旅に出よう

「府大文藝部との初コラボ企画展示中！」

目次

本を持って旅に出よう

秋の企画展示

文藝部×図書館初コラボ企画展示

旅にまつわるおすすめの1冊

図書館からのお知らせ

月間テーマ展示「食品ロス削減」

パネル展示

「～生成AI(Chat GPTなど)に頼らない～レポート作成に役立つ図書館活用のおすすめ!」

図書館相互利用(ILL)サービス

編集後記

本を持って旅に



秋の企画展示

文藝部×図書館初コラボ企画展示

ただいま図書館では府大文藝部の皆さんのご協力のもと、「旅」をテーマに館内の蔵書から選んでいただいたおすすめ図書を、それぞれお手製のPOPと共に展示しています。ぜひお手に取ってご覧ください！

期間 2023年10月1日(日)～12月27日(水)

場所 2階フロア開架雑誌棚上のスペース

テーマ 「府大文藝部おすすめの“旅”にまつわる本」



● 展示図書リスト (抜粋)

書名	著者名	出版者	出版日付	請求記号
パリ行ったことないの (集英社文庫)	山内マリコ著	集英社	2017.4	913.6 Y
定本 與謝野晶子全集 第7巻: 歌集7	與謝野晶子著	講談社	1981.6	918.68 Y 7
朝鮮王朝の衣装と装身具	張淑煥監修・著, 原田美佳ほか著・訳	淡交社	2007.3	383.1 C
ライオンは寝ている	大貫妙子著	新潮社	1996.6	914.6 O
ヒストリカル・ガイド アメリカ	有賀貞著	山川出版社	2004.8	253 A
大阪：都市の記憶を掘り起こす (ちくま新書)	加藤政洋著	筑摩書房	2019.4	291.63 K

Message

文藝部の一員として、図書館との共同企画にご挨拶申し上げます。このたびの機会を賜り、図書館の利用促進にお手伝いできることを、心より光栄に存じます。現在、図書館内にて文藝部が「旅」をテーマに厳選した本を展示中です。部員による紹介POPもご用意しております。

文藝部は文学を通じて感動を共有しながら日々

穏やかに活動しています。部誌では詩、小説、紀行文など多彩な作品を扱っておりますので、ぜひ手に取ってご覧ください。

この企画が、皆様の読書体験に新たな刺激をもたらすことを願っております。ぜひ文藝部とともに本の魅力をご堪能ください。

京都府立大学文藝部部長 馬場 涼子

出よう

旅にまつわる
おすすめの1冊

『精霊の守り人』 上橋菜穂子著

美王 洋乃

女用心棒のバルサは、新ヨゴ皇国の皇子チャグムとともに旅に出る。チャグムの母・二ノ妃から、精霊の卵を宿したチャグムの護衛を依頼されたバルサ。帝の放つ刺客と卵を狙う怪物から幼いチャグムを守るため、命がけて戦い続ける。夏至祭りに関わる建国神話と先住民ヤクーの伝承をめぐる壮大な旅路の中で、複雑な過去を背負うバルサと、逃避行の中で成長するチャグムは、固い絆を育んでいく。卵を孵すために青弓川の水源地に向かうチャグムとバルサたちの運命とは――。異界の景色に彩られた世界を生き抜く人々を描く「守り人」シリーズの第1作。

(文学研究科 英語英米文学専攻 博士前期課程1回生)



『精霊の守り人』
新潮社、2007.4
(請求記号913.6|IU)

『語学の天才まで1億光年』

高野秀行著

鬼頭 美帆

この本の著者は25以上の言語を習い、実際に習った言語が使われている場所まで行って現地で使うこともあった。言語は英語やフランス語のような有名な言語から、リンガラ語やワ語のような聞いたことのない言語まで、様々な言語を学習したという。どうやって大量の言語を学習したのか。実際に旅をしてどのような経験をしたのか。この本には旅のヒントになりそうな話が満載となっている。新しい言語を学習することに興味のある人や見知らぬ地へ旅したい人に特に読んでもらいたい一冊だ。

(公共政策学部 公共政策学科2回生、文藝部)



『語学の天才まで1億光年』
集英社インターナショナル、
2022.9(請求記号804|IT)

『地上に星座をつくる』 石川直樹著

梶川 奈望

本書は、写真家である著者が世界中を旅する最中の出来事を記したものです。旅をしながら、自らが山を登って、現地の人と話し、飯を食べている生活の様子が平らかな文章で綴られており、とても読みやすい印象を持ちました。最大の魅力は、前述したとおり文章全体の静かな雰囲気です。著者にとって旅をすることは生活の一部であって、読者は著者が記録として残したものを読んでいるのだと感じられ、それがかえって心地よい距離感になっています。一つの話題が数ページでまとまっているので、どこから読み始めてもいいのもおすすめポイントです。

(生命環境学部 農学生命科学科3回生)



『地上に星座をつくる』
新潮社、2020.11
(請求記号290.9|II)

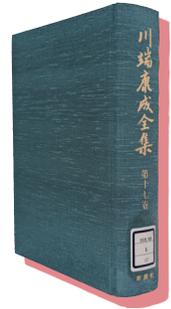


『美しさと哀しみと』 川端康成著

吉田 朱美

川端康成の小説『美しさと哀しみと』(1964年)は、鎌倉在住の男性作家が、かつて恋人であった京都在住の女性画家のもとを訪ねる旅からその物語が始まります。京都を舞台にした川端の小説として有名なものには『古都』(1962年)があり、私が「祇園祭」や「北山杉」の語を知るようになったのも『古都』を通じてであったのですが、ほぼ時期を同じくして書かれた『美しさと哀しみと』にもまた『古都』同様、京都をめぐる旅のガイドブックとしての役割を担わせようとの作者の思いがあったように感じられます。登場人物が訪れている寺社の由緒を三人称の語り手が読者に向かって解説してくれたりするのです。

物語の終盤、作家の息子であり国文学者の太一郎は嵯峨野で文学散歩を楽しみ、嵐山の料亭「吉兆」での食事後、麗しきファミ・ファタールであるけい子に誘われ、琵琶湖へと赴きます。彼女は画家ジョン・ウィリアム・ウォーターハウスの描いたような水妖だったのでしょか？
(欧米言語文化学科 教授)



『川端康成全集』第17巻
※「美しさと哀しみと」を所収
新潮社、1980.9
(請求記号918.68||K||17)

『スマホを置いて旅したら』 ふかわりょう著

長井 薫

スマホは便利である。今は非常に多くの方が、事あるごとにスマホを見つめて日常を送る時代になっているものと感じる。本作は、スマホ有り生活にどっぷり浸かった著者がスマホを自宅に置いて、岐阜県に旅に出たという紀行文である。日常の中ではスマホを手放せないという人も多いのではないかと思う。ましてや初めての所への旅ともなると、地図や交通・観光情報などあれば頼りたいことも多そうだ。だがこれはスマホに頼ることがあまりにも当たり前になって、日常がスマホに縛られている状態とも言えるかもしれない。旅は非日常が醍醐味といわれることもあるが、スマホを置いていくというのも非日常感を目指すには大きなポイントかもしれない。本文中でもスマホを置いて旅をしていることを伝えると「いいですね。」と言われたという記述が出てくるが、多くの人はもしかすると心の底でスマホからの開放という非日常を欲しているかもしれない。スマホに頼らないからこそその非日常感、予想外の風景や人との出会いなどもたまには良いかもと感じさせられた。



『スマホを置いて旅したら』
大和書房、2023.4
(請求記号914.6||F)

(食保健学科 教授)





月間テーマ展示「食品ロス削減」

10月は食品ロス削減月間です。食品ロスとは、まだ食べられるのに規格外・売れ残り・食べ残し・賞味期限切れなどで廃棄される食品のことです。その処分にかかる膨大なコストは、社会的にも環境的にも見逃すことができません。食品ロスの原因、起きている問題、事業者や行政の取り組みはどのようなものか、消費者としてできることはなにかを探してみましょ

● 展示図書リスト（抜粋）

書名	著者名	出版社	出版日付	請求記号
フードバンク:世界と日本の困窮者支援と食品ロス対策	佐藤順子編著	明石書店	2018.5	369.2 S
賞味期限のウソ:食品ロスはなぜ生まれるのか (幻冬舎新書)	井出留美著	幻冬舎	2016.10	498.54 I
大量廃棄社会:アパレルとコンビニの不都合な真実 (光文社新書)	仲村和代, 藤田さつき著	光文社	2019.4	519.7 N
捨てられる食べものたち:食品ロス問題がわかる本	井出留美著	旬報社	2020.7	611.3 I
食品をつくる責任、消費する責任 (食卓からSDGsをかんがえよう!2)	稲葉茂勝著/ こどもくらぶ編	岩崎書店	2021.2	611.3 K 2
フードバンクという挑戦:貧困と飽食のあいだで (岩波現代文庫)	大原悦子著	岩波書店	2016.3	611.3 O

パネル展示

「～生成AI(Chat GPT など)に頼らない～

レポート作成に役立つ図書館活用のおすすめ！」

最近、質問に応じて回答文章を作成する Chat GPT 等の生成 AI が急速に普及し、手軽に利用できる状況となっています。生成 AI は、一般的な知識や多くの質問に対する応答に役立つものの、特定の専門知識や最新の情報に関しては限定的であったり、虚偽が含まれている可能性があります。その反面、図書館が所蔵する資料やオンラインデータベースは、学術的な情報や専門書、歴史的な資料など、より信頼性の高い情報を提供しています。

パネル展示では、課題におけるテーマの決定から執筆にあたって、レポート作成の手順に沿って図書館の活用方法をご紹介します。レポート作成の際は、生成 AI を安易に頼らず、図書館を大いに活用してください。





図書館相互利用(ILL)サービスについて【学内者限定】

●他大学の図書館利用

必要な資料が図書館にない場合は、他大学図書館や国立国会図書館等から文献の複写物(図書の一部や雑誌論文)を取り寄せたり、図書の借り受けや訪問利用をすることができます。文献複写と現物貸借は、図書館ホームページのマイライブラリからの申込みも可能です。

※初めて利用される場合はカウンターにてご相談ください。

※文献複写と現物貸借はいずれも有料です(速達指定も可)。

マイライブラリ▶



※訪問利用には紹介状が必要なため、日数に余裕を持ってカウンターで事前にお申込みください。

●協定校の図書館利用

相互協力の協定を結んでいる三大学(京都府立医科大学・京都工芸繊維大学・京都外国語大学)の図書館を利用することができます。利用者登録をすれば利用カードが発行され貸出も可能です。

学生証または身分証を持参の上、訪問してください。

●K-Libnet(京都府図書館相互貸借ネットワーク)

京都府内にある公共図書館の図書を借りることができます(無料)。

京都府図書館総合目録で所蔵を確認し、カウンターでお手続きください。



京都府図書館総合目録▲

編集後記

今号の特集は「本を持って旅に出よう」。秋の企画展示では文藝部と初コラボし、本誌「なからぎ」の表紙を撮影いただいている写真部に続いて、学生さんとの新たな協働を試みました。それぞれの推薦図書に添えた、部員の皆さんによる個性豊かなPOPもぜひご覧ください。その他の学生、院生さんや先生方からも旅にまつわるおすすめの1冊をご紹介いただきました。本を通して、日常と非日常を往還する“旅”をどうぞお楽しみください。(K.U.)

撮影 note

表紙@京都府長岡京市
花手水が有名な楊谷寺(柳谷観音)ですが、上書院から見る紅葉も絶景です。
様々なSNSで、話題沸騰中の楊谷寺、ぜひ訪れてみてください。

(府大写真部・加藤宏汰)

『なからぎ』京都府立大学図書館報 243号 ISSN:1344-5561

2023年10月発行 編集発行人:小林啓治

発行所:京都府立大学附属図書館 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

TEL) 075(703)5128~5131 FAX) 075(703)5192

HP) <https://www2.kpu.ac.jp/toshokan/toshokan.html>

X(旧 Twitter) アカウント名:京都府立大学附属図書館(@kpu_library)

▼図書館HP ▼X(旧 Twitter)

